

温故知新、 お客さまと共に



野村総合研究所 代表取締役副社長

さわだ
沢田 ミツル

弊社、野村総合研究所（NRI）の2015年事業年度は、創立から半世紀を経過した年度であった。おかげさまで50周年をつつがなく迎えることができたのも、ひとえにお客さまとの長年にわたる厚いよしみのたまものであり、あらためて深く感謝申し上げる次第である。

さて、NRIのルーツは、野村証券の調査部と電子計算部という2つの部門である。この2つの部門が、今から約50年前にそれぞれ子会社として分社化された。前者が1965年に設立された野村総合研究所（旧NRI）、後者が1966年に設立された野村電子計算センター（NCC）である。そしてそれから20年を超える歳月を経て、1988年1月に両社が合併して新しいNRIとなり、現在に至っている。合併の結果、リサーチ、コンサルティング、システムという3つの歯車がかみ合い、大型案件の受注が相次いだ。これによって顧客基盤は質量ともに厚みを増していった。

また、両社の合併は、お客さまの事業活動における真の問題の発見から問題解決に至るまでのプロセスをトータルに支援できる体制が整ったことを意味した。NRIは現在、これを「ナビゲーション×ソリューション」と呼び、お客さまの企業価値を最大化することを

自身の経営目標としてさまざまなサービスを開発し展開している。

今お読みいただいている本誌『ITソリューションフロンティア』は、1984年の発刊以来、30年間にわたって毎月、NRIの情報システムの企画・設計・開発・運用に関わる最前線の技術者が執筆を続けてきたものである。現場での実体験をベースに、時宜にかなったテーマを選び、平易な表現で情報発信することを心掛けてきた。

本誌では2015年の1年間、50周年にちなんで「温故知新『NRIの挑戦』」と題し、NRIの役員がITソリューションの変遷について執筆したものをシリーズとして掲載してきた。「IT基盤技術編」「ナビゲーション×ソリューション編」「サービスモデル編」「システムコンサルティング編」「データセンター編」「プロジェクトマネジメント編」に分けて、過去のさまざまな事業やプロジェクトについて、筆者自身の経験も交えながら振り返ったものである。

2015年1月号の本誌に掲載された「IT基盤技術編」の一部をここでもう一度、紹介させていただくと、1955年の野村証券計算部による日本最初の商用コンピューター導入から始まった先進技術の積極的採用、そしてそ

の後のマルチベンダー対応、ネットワーク重視の設計、ミドルウェアの自社開発、標準化推進など、NRIの強みの源泉ともいえる基盤技術への挑戦の歴史がつづられている。そして、著者の末永守（現監査役）は「NRIの技術者はアプリケーションやその先のユーザーの使い方を十分に認識しながら、今後も技術開発に取り組んでいくであろう」と締めくくっている。

この「温故知新」シリーズで共通しているのは、いずれの筆者も、NRIとしてこれからも大切に残していきたいと思うことを記している点である。また各筆者が異口同音に「ユーザーの視点を重視する」というNRIの価値観に触れている。それは、システムコンサルティングを含むNRIのITソリューションの強みは、組織として長年守ってきた「企業内システム部門の遺伝子」にあるとわれわれが考えているからである。ルーツである野村證券電子計算部の時代から分社化を経て現在に至るまで、NRIは、単なるITベンダーであるのではなく、企業においてIT利活用を推進するための「ユーザーの視点」を持ち続けてきた。

現在、NRIグループの売上に占める野村ホールディングスの仕事は全体の2割程度となっている。従って、NRIは野村ホールディングス以外のお客さまからの仕事で成り立っているといってもよい。このようにNRIが多数のお客さまのご支持を頂いているのも、企業内システム部門の遺伝子であるところの「ユーザーの視点を重視する」姿勢がグループの隅々にまで浸透しており、それをご評価

いただいているからであると感じている。

システム（System）という言葉は、今では情報システムの略称のように使われるが、本来は「系（つながり）」という意味である。お客さまの情報システムは、個人、チーム、企業、産業、地域、国、世界と、その「系」を自律的に拓けていけるようになっている。そしてNRIはこれらのお客さまの情報システムの最適化に向けて、これからもユーザーの視点を持って支援させていただきたい。

自社のことで恐縮であるが、NRIは2016年度より、「Vision 2022」という新しい長期経営ビジョンに基づく事業年度をスタートさせる。「Vision 2022」では、共同利用型サービスをはじめとしたNRIの強みをさらに磨き、その優位性を活かしながら、デジタルマーケティングやグローバル展開などの新規事業にチャレンジすることを計画中である。NRIは、すでに数年前からいち早くオープンイノベーションの活動に取り組んでいる。自社内にとどまらずさまざまな関係者と一緒になって新しい技術やサービスを研究し開発しようという活動である。このように、NRIはこれからもお客さまの事業価値を共に創造し高めるとご支援をさせていただく所存である。

NRIは創業時から、「お客さまからの信頼を得て、お客さまと共に栄える」という使命を企業理念の1つとして大切にしている。NRIグループの全役職員がこの使命をこれからはしっかりと果たし、より高い付加価値を提供することによってお客さまに貢献し続けていくことをお約束したい。 ■